

網張ビジターセンター ニュースレター



Vol.87
2019.11



amiharinomorinoikimonotachi amiharinomori * 網張の森の生き物たち * amiharinomorinoikimonotachi amiharinomori

外壁にぶつかってしまった？ “ウソ” のオス

木枯し1号の便りが足踏みしそうな快晴のある朝、落ち葉の中で虚ろに佇んでいるウソに出会いました。カサカサと気配のする方を見ると喉元の桃色が華やかな立派なオスの姿が。飛び立つでもなく、こちらの存在に気づくでもない様子。頭がぐらりぐらりと左右に大きく動くなど、尋常ではない様子にこちらも足の力が抜けるようでした。少しするとウソは立っていられなくなり、羽を少し広げてバランスを取るも頭から地面に突っ伏してしまいました。9月に脳震盪で一時保護したゴジュウカラを思い出し、急いで館内に運び入れ、段ボール箱に入れて様子を見ることにしました。箱を組み立て、底に敷いたハンカチの上に載せようとした途端、ブルッと全身が痙攣。それまでの力のない体が脚の先までピンと伸び、それっきり動かなくなりました。「フィ、フィ…」と口笛のような囁りを山で聞かせてくれることの多いウソは、最期に、いきものと人との関わりを考える機会も与えてくれました。

“What is Usuo”?

「桜の咲く頃に話題になる鳥」

アトリ科
全長：約 15.5cm
分布：北海道、本州

オスは頬から喉にかけての桃色が特徴的。メスは頬から体下面と背が灰褐色。

その昔、菅原道真がハチに襲われた際にウソの大群が飛んできて助かったことから、太宰府天満宮では木彫りのウソを使った「鶯替え(うそかえ)」という神事も行われている。

amiharinomorinoikimonotachi amiharinomori amiharinomorinoikimonotachi amiharinomori amiharinomorinoikimonotachi amiharinomori amiharinomori



網張から見える 山ノート

大松倉山

標高：1407.5m

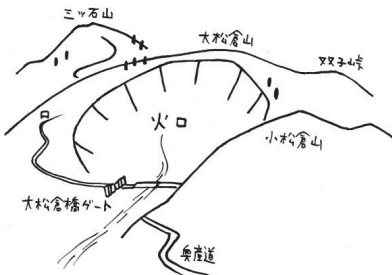
位置（網張VCから）：北西

登山適期：6月中旬～10月初旬にかけて。展望リフトの活用もお勧め。

特色：網張火山列に属し、南側には小松倉山や奥産道にも届く馬蹄形の火口が広がる。火口壁にあたる山頂を含む稜線は、ササやハイマツに邪魔される事なく眺望がよい。

20ページ目 大松倉山

網張から三ツ石山に抜けるコース上にあり、山名にも含まれる通りアオモリトドマツが多く植生に見られる山です。今回取材にあたって奥産道（県道212号線）から大松倉山を撮影できる場所を探しましたが、意外と楽ではありませんでした。東側からは小松倉山の影に隠れ、南側からは樹木や山腹に視界を阻まれるのが主な要因です。また、山頂のように見える偽ピークも幾つかあるので非常に騙されやすい（本当の山頂はピークが目立たず、遠近感の関係でむしろ低く見える）。



網張温泉スキー場が整備される以前、大松倉山を目指して登山登山を楽しんだと来館者の男性が懐かしそうに話をしてくれた事があります。今は目的地として選ばれる事はまれな山かもしれないませんが、春から初夏にかけてサンカヨウやミツバオウレンなど多様な花々が見られる網張からのコースはお勧めです。



しらみのある色合いの初冬、気をはく緑もやがては雪に沈む

野鳥も冬支度

奥産道を下りている時に“ふわり”と道路を横切る野鳥と出会いました。5～6羽ほどのウソの群れです。

イタドリの子を静かについばみ姿は丸々として、木枯らしにも負けない風体に見えました。



アミハリ・バーズ Vol. 3 0

カケス

科名：カラス科
全長：約33cm
生態：留鳥または漂鳥
分布：日本全国

鳴き声

ジェージェー、
ジャージャー、

繁殖期にはピョーイと甘い声、ほかの鳥の鳴き声をまねする事もある。

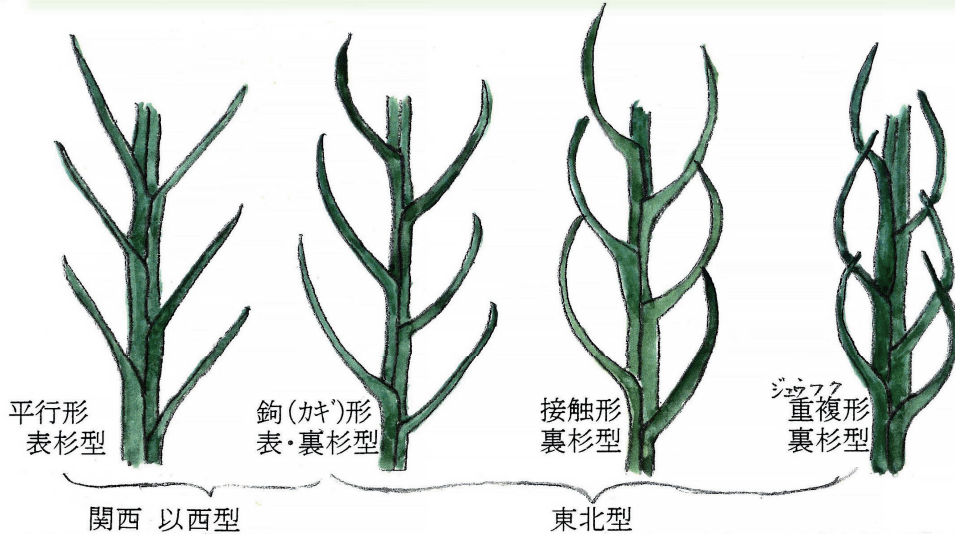


K.Hirano '19

カケスは江戸時代より以前に「かしどり」と呼ばれ、樫の木の実を好む所から名付けられ現在の名前に変化したようです。ドングリやクリは全般いけるようで、冬を乗り切るため貯食行動をとる事も知られています。里で越冬したカケスたちが網張に集結するのは4月の下旬、キクザキイチゲが咲き始める頃です。繁殖に向けてのパートナー探しや、なわばり争いなどのかけひきが繰り広げられているものと思われます。にぎやかなのも大体一週間ほどで落ち着き、群れはより標高の高いエリアを含めて各地へ分散していきます。ロシアの動物文学で知られるピアンキによると、何か異変があると騒いで教えてくれるカケスは「森の新聞屋」。クマが近くにいる事をカケスが教えてくれた、などという事例もきくと起きていのでしょうか。

「花粉症」ですっかり悪役イメージのスギですが、日本人とは長い歴史を共にしてきた樹木です。網張でも明治時代の絵葉書には、温泉の建物の周りに植栽された杉が描かれており、現在では見上げる様な大木に成長して、訪れる人を夏の強い日差しから守っています。今回は普段気づかないスギの葉を観察しました。

スギの針葉形は約70年前から下図の4タイプに分類されている。



網張の森で観察中の喜作先生

スギの針葉についての関西以西型、東北型という分類は文献には見当たらず、亀山個人の分類型である。私は、1978年に林野庁の関西林木育種場（岡山県勝央町）、九州林木育種場（熊本県合志市）、同 四国支場（高知県香美市）のスギ精英樹採種園（各々約250種クローン構成）を個人見学した。九州、四国の採種園では平行形が多かったのに対し、東北林木育種場（岩手県滝沢市）は青森、岩手、宮城三県内のスギ林から選抜されたもので構成されているので平行形は皆無であった。奥羽支場（山形県東根市）の採種園でも平行形は存在しなかったように思っている。

1973年林業種苗法が改定され、区域外への（例えば東北育種区から関東育種区へ等）スギ種苗の持ち込みが禁止された。それは1955年ごろ秋田県森吉山麓の約20年生スギ林が豪雪で大被害を受け、その苗が日本三大美林の一つ奈良県吉野杉であったこと、また岡山県で成長の早い九州産の苗によるスギがスギカミキリに穿孔され、幹がボロボロになったというような事例から一定区域外の種苗の移動が禁止されたものである。

東北では青森・岩手・宮城三県内産のスギ種苗を一つの区域とし、秋田・山形・新潟三県内を別の区域として福島は関東圏の区域とした。私は1976年ごろ奥羽支場（東根市）のスギ精英樹採種園を観察していて、その当時スギの分類は針葉形四分類だけであったが、球果がクローンによって違うことを発見し、球果の外観を12に分類した。例えば球果の大きさ、黒っぽいとかの色の違い、種鱗の多少、長さ、曲がり等である。その結果、実生から生じた成木一本、一本の球果は皆違うと思われた。東北地方のスギ生立木は全部で数十億本あると思うが、その球果が皆違うことになり、そのことを1987年東北林学会で発表した。網張ビジターセンターすぐ上の薬師社周囲に17本のスギ生立木があり、その内で調べた5本の針葉型は鉤型と接触型と重複型で全て東北型であった。

（亀山記）

（参考文献 1. 「杉のきた道」中公新書 遠山富太郎 中央公論社、

2. スギ精英樹クローンにおける球果の形態観察 亀山喜作 日本林学会東北支部会誌 No. 39）

問1 スギは漢字で杉と書き、音読みではサンという。なぜか？ ■スギについてのミニクイズ■

問2 江戸時代、江戸（現在の東京）は世界でもトップクラスの人口を誇った。その理由は主として次のどれか？

- ① 杉で作った樽のおかげ ② 住宅の建材（柱、板、屋根葺用小羽）のおかげ ③ 薪など燃料のおかげ

問1の答え スギの成葉をねじると三列になり、スギの種子を畑に蒔くと最初の発芽の90%は三葉で10%が二葉となるから。
（辞書類にも明確な説明が無く、あくまでも喜作先生の解釈です）

問2の答え ①が正解。ローマも北京も石の都市で、し尿を垂れ流しにしていたので、チフスや赤痢などの伝染病で人口が減った。日本は大八車に、し尿を入れたスギ樽を積んで郊外の田や畑の肥やしにしたことにより都市の衛生が保たれたから。



この辺り、噴火の形跡有るのわかる？

「登山ガイドと黒倉山に登ろう」★9月28日

山を歩く楽しさを知ってもらう企画に6歳から11歳までの小学生と親が参加。プロガイドから疲れない歩き方を教わったり、紅葉の絶景を味わったり、「めちゃめちゃ楽しかった」と子ども達。参加者総勢34名。

「ロングウォーキングに挑戦！岩手山麓森の道」★10月5日

たきざわ自然情報センター開設10周年を記念した滝沢市や山岳協会とのコラボ企画。遠くは神奈川県からも含め31名が参加。約13Kmを5時間20分かけて全員が歩き通し、垂直方向の山登りだけでなく自然の中で水平方向を歩く楽しさを見つけました。



休憩タイムには野生キノコの勉強会も

「ドコモ網張の森」森林整備



(株)D正CS東北の岩手支店が、社員や協力会社と毎年行っている網張の森の整備作業。盛岡森林管理署とのコラボで9月29日実施。林道整備で汗を流し、午後は自然観察ビンゴを楽しみました。

滝沢第二小学校 五年生校外学習

ブナの森の大切さ分かったかな～？



9月17日・20日・26日

北上市がん患者の会へ「野外アソビ」「びわの会」秋の網張散策

10月5日、がん患者さんとその御家族、支援者の方が紅葉の網張の森を歩きました。森から元気をもらえたかな。



「フレンド滝沢」 秋の遠足 網張の森自然散策

滝沢市の適応指導教室「フレンド滝沢」の中学生が網張の森を訪れ、目をキラキラさせてVCスタッフの自然の話に聞き入っていました。「なにげなく思っていたことが本当は大切な役割をもっていたことに気づいた」と感想文に書いてくれました。10月18日実施



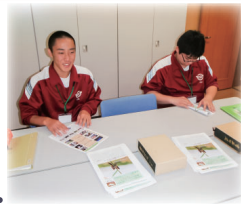
写真提供：滝沢市教育委員会

しずくいし産業まつり 今年もブース出展



10月19日～20日 手作りゲームや塗り絵が大好評。

雫石中学校職場体験受け入れ



2年生の男子生徒がVC業務を体験。仕事の大変さと楽しさの両方を実感。9月25～26日

いわて定住・交流 体験ツアー

首都圏の人に、先輩移住者たちの体験を聞いてもらい定住を考えるツアーが網張を訪れました。VCではキャンプ場で雫石町の地場産業である木炭で火をおこし南部鉄瓶で湯を沸かし温かい飲み物で歓迎。参加者は晩秋の森の中で先輩達の話に聞き入っていました。11月3日実施



モモンガのつぶやき

小学六年生の男の子とお父さんがビジターセンターを訪ねてきた。卒業研究で温泉について調べているという。最後の質問、「網張温泉の魅力はなんですか？」に対する当館スタッフの答え・・・

「自然に近いってことかな。わざわざ遠くまで来ないと接することが出来なくなってしまう自然って一体・・・(たくちゃん)



十和田八幡平国立公園 網張ビジターセンター

来館者数 ◆ 9月 2,780人 ◆ 10月 1,996人
朝9時のビジターセンター平均気温 ◆ 9月 13.7℃ ◆ 10月 7.8℃

発行 網張ビジターセンター運営協議会

〒020-0585 岩手県岩手郡雫石町長山小松倉 1-2 (網張温泉)

TEL 019-693-3777 FAX 019-693-3778

URL <http://amihari17.ec-net.jp>

E-mail amihari@vanilla.ocn.ne.jp

開館 冬期(11月から3月末まで) 毎週火曜日休館 9時～17時